平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場会社名　オカダアイヨン株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6294　URL　http://www.aiyon.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 苅田　俊幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 簗　耕二　TEL 06-6576-1281

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,627	41.8	264	―	271	―	243	―
23年3月期第2四半期	2,559	22.5	△56	―	△62	―	△50	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　213百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△67百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	39.36	―
23年3月期第2四半期	△8.11	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	9,048	3,956	43.7
23年3月期	8,677	3,773	43.5

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　3,956百万円　23年3月期　3,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	5.00	5.00
24年3月期	―	0.00			
24年3月期(予想)			―	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	36.0	480	1,043.2	480	1,583.3	380	532.1	61.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	6,200,000 株	23年3月期	6,200,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	4,977 株	23年3月期	4,164 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	6,195,446 株	23年3月期2Q	6,196,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）追加情報 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による被害と原発事故による電力不足等により、企業の生産活動の停滞や消費の自粛など国内景気に大きな影響を受けましたが、サプライチェーンの復旧や自粛ムードの解消で生産活動や個人消費には回復の動きが見られるようになり東日本大震災の影響から除々に立ち直りつつあるものの、米国経済の低迷、更には欧州の財政問題や、それに伴う円高の進行等により、景気の先行きは今までになく不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで当社グループは、東日本大震災の復旧、復興に関わる商品を優先的に提供したことに加え、前期よりスタートした３ヵ年の中期経営計画の２年目に当たる当第２四半期において、主力商品の油圧ブレーカー、圧砕機、環境関連機器の販売に注力しました結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高3,627百万円（前年同期比41.8%増）、営業利益264百万円（前年同期は営業損失56百万円）、経常利益271百万円（前年同期は経常損失62百万円）、四半期純利益243百万円（前年同期は四半期純損失50百万円）となりました。

当第２四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

国内事業は、売上高全体で3,044百万円（前年同期比44.4%増）となっており、主に大手レンタル業者の被災地向けアタッチメントの需要増により、油圧ブレーカーの売上高は219百万円（前年同期比31.2%増）、圧砕機は1,151百万円（前年同期比65.1%増）となり、環境機械に関しては被災地の瓦礫処理など復旧需要により、売上高は483百万円（前年同期比12.2%増）となりました。その他原材料売上高は495百万円（前年同期比10.5%増）及び修理売上高264百万円（前年同期比25.2%増）となっております。

海外事業は、円高基調にもかかわらず、主に米国でのレンタル業者向け売上増が寄与した結果、売上高582百万円（前年同期比29.2%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第２四半期連結会計期間末における資産の残高は、9,048百万円（前連結会計年度末8,677百万円）となり370百万円増加しました。現金及び預金が513百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が637百万円、前渡金等を含むその他が240百万円、たな卸資産が60百万円増加したことが主な要因です。

（負債の部）

当第２四半期連結会計期間末における負債の残高は、5,092百万円（前連結会計年度末4,904百万円）となり188百万円増加しました。長期借入金（１年内返済予定金含む）が172百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が345百万円増加したことが主な要因です。

（純資産の部）

当第２四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,956百万円（前連結会計年度末3,773百万円）となり182百万円増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における業績の動向等を勘案し、平成23年８月12日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成23年11月４日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,298,164	1,785,025
受取手形及び売掛金	1,944,001	2,581,521
商品及び製品	973,366	906,351
原材料及び貯蔵品	869,464	997,329
その他	117,243	357,969
貸倒引当金	△6,525	△9,657
流動資産合計	6,195,715	6,618,541
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	589,434	571,459
機械装置及び運搬具（純額）	199,298	178,823
土地	1,423,710	1,423,710
その他（純額）	23,019	21,012
有形固定資産合計	2,235,462	2,195,005
無形固定資産		
その他	149,390	144,568
無形固定資産合計	149,390	144,568
投資その他の資産		
その他	103,204	100,474
貸倒引当金	△5,810	△10,430
投資その他の資産合計	97,393	90,044
固定資産合計	2,482,246	2,429,618
資産合計	8,677,962	9,048,159

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,137,820	1,483,750
短期借入金	2,550,000	2,550,000
1年内返済予定の長期借入金	294,808	230,348
未払法人税等	18,139	47,182
賞与引当金	83,690	89,642
その他	110,216	116,426
流動負債合計	4,194,675	4,517,349
固定負債		
長期借入金	336,542	228,548
退職給付引当金	262,572	252,831
役員退職慰労引当金	77,950	66,801
その他	32,283	26,604
固定負債合計	709,348	574,784
負債合計	4,904,023	5,092,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,049,700	1,049,700
資本剰余金	1,000,265	1,000,265
利益剰余金	1,865,241	2,078,118
自己株式	△1,106	△1,299
株主資本合計	3,914,099	4,126,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,082	170
繰延ヘッジ損益	1,350	△5,873
為替換算調整勘定	△142,593	△165,054
その他の包括利益累計額合計	△140,160	△170,758
純資産合計	3,773,938	3,956,025
負債純資産合計	8,677,962	9,048,159

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	2,559,242	3,627,731
売上原価	1,859,117	2,501,947
売上総利益	700,125	1,125,784
販売費及び一般管理費	756,530	861,712
営業利益又は営業損失（△）	△56,405	264,071
営業外収益		
受取利息	1,899	4,849
受取配当金	226	653
固定資産売却益	24,054	28,500
その他	6,442	1,977
営業外収益合計	32,623	35,980
営業外費用		
支払利息	22,892	18,457
債権売却損	1,925	1,373
為替差損	13,213	7,138
その他	678	1,376
営業外費用合計	38,710	28,347
経常利益又は経常損失（△）	△62,491	271,704
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△62,491	271,704
法人税等	5,649	27,848
法人税等還付税額	△17,871	－
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△50,269	243,856
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△50,269	243,856

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△50,269	243,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,613	△912
繰延ヘッジ損益	－	△7,223
為替換算調整勘定	△15,849	△22,461
その他の包括利益合計	△17,463	△30,597
四半期包括利益	△67,733	213,259
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67,733	213,259
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,108,239	451,003	2,559,242	－	2,559,242
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,789	1,110	10,899	(10,899)	－
計	2,118,028	452,114	2,570,142	(10,899)	2,559,242
セグメント損失（△）	△26,542	△33,363	△59,905	3,500	△56,405

（注）１　調整額は以下のとおりであります。

セグメント損失の調整額3,500千円には、セグメント間取引消去2,960千円及びその他540千円が含まれております。

２　セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,044,935	582,796	3,627,731	－	3,627,731
セグメント間の内部売上高又は振替高	50,345	24,931	75,276	(75,276)	－
計	3,095,280	607,727	3,703,007	(75,276)	3,627,731
セグメント利益又は損失（△）	303,121	△40,035	263,086	984	264,071

（注）１　調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失（△）の調整額984千円は、セグメント間取引消去984千円であります。

２　セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。